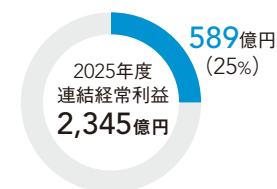


グローバル・マーケット&インベストメント・バンキング戦略

グローバル・マーケット&インベストメント・バンキング部門は、機関投資家などを対象に有価証券のセールスおよびトレーディングを行うグローバル・マーケットと、事業法人、金融法人などが発行する有価証券の引受けやM&Aアドバイザリー業務を行うグローバル・インベストメント・バンキングによって構成されています。

GM&IB部門の経常利益



田澤 健一
グローバル・マーケット担当

2025年度のGM経常利益は408億円となりました。エクイティは日本株市況の好調を背景に個人・機関投資家の顧客フローが拡大し、FICCでは国内金利の上昇局面を捉え、新たな投資家の動きも活発化しました。今後についても、インフレ定着やガバナンス改革への期待を背景とした日本市場への関心の高まりや、金利のある世界の本格化に伴う投資家のヘッジニーズ・ポートフォリオ見直しの動きが継続するため、収益機会の拡大を見込んでいます。外部環境の変化を活かし、幅広いお客様ニーズを捉えた多様なプロダクトと高度なソリューションを提供します。また、他部門との連携をより一層深め、トレーディング収益の拡大を目指しています。



山本 徹
グローバル・インベスト
メント・バンキング担当

2025年度のGIB経常利益は145億円となり、セグメント開示以降で過去最高を記録しました。国内普通社債・地方債・SDGs関連債のリーグテーブルで1位を獲得したほか、グループM&A関連収益も過去最高となりました。日本企業を取り巻く構造変化を追い風に、コーポレートアクションは一段と活発化しており、この潮流は今後も続くと考えています。多様化する資金調達手段や、大型化・グローバル化するM&A案件への対応力を、WM部門やGMとの連携深化やグループの総合力発揮を通じて一層強化するとともに、AIの活用により顧客接点の拡充と提案品質の向上を進め、お客様の企業価値最大化に貢献していきます。

主な構成会社

- 大和証券
- 大和証券キャピタル・マーケット ヨーロッパリミテッド
- 大和証券キャピタル・マーケット 香港リミテッド*
- 大和証券キャピタル・マーケット シンガポールリミテッド*
- 大和証券キャピタル・マーケット アメリカ Inc.

* ウェルスマネジメント部門にも属する

拠点所在地.....世界21ヵ国・地域
引受高、募集・売出しの取扱高.....株券7,743億円
債券12.5兆円

環境認識

- GM** ◆ 投資行動変容「貯蓄から投資へ」の本格化 ◆ 近年のインフレによる金融・財政政策の変化 ◆ 地政学リスクに伴うグローバル経済環境の不透明感の継続 ◆ ESGに対する投資家、発行体のさらなる意識の高まりと行動 ◆ テクノロジーの進化を受けた異業種参入に伴う競争環境の変化
- GIB** ◆ 金利上昇、インフレの継続 ◆ 地政学リスクを踏まえた企業行動の拡大 ◆ 企業のガバナンスや効率性を求める投資家の影響力の拡大 ◆ 企業活動に対する高い環境対策の要請 ◆ スタートアップ企業をサポートする手段の多様化

事業リスク

- GM** ◆ トレーディング業務において、急激な市況変動による市場流動性の低下に伴う損失リスク ◆ ブローカレッジ業務において、投資家の投資需要の低調やリスクを避ける投資行動による収益減少リスク ◆ 大規模な取引システムへの投資リスク、およびシステム障害が発生するリスク
- GIB** ◆ M&Aアドバイザリー業務において、市況の影響で取引規模が減少するリスク ◆ 引受業務において、引き受けた証券が円滑に販売できないリスク ◆ 有価証券の募集・売出しに係る発行開示が適切になされず、引受会社として投資家から損害賠償を受けるリスク

強み

- GM** ◆ 海外拠点網の活用による国内外横断的な商品・情報提供力
◆ 強固かつ高度な株式・債券の執行プラットフォーム
◆ 業界トップ水準のリサーチクオリティ
- GIB** ◆ 多様なプロダクト・高度なソリューション提供力
◆ グローバルM&Aアドバイザリー網
◆ 国内上場企業および未公開企業をカバーする法人営業体制